

「黄櫨の会」では8月24日、会誌「黄櫨」50号発行記念行事を行いました。当日の麻生渡前知事、安保博史県立群馬女子大学教授の講演を中心に、黄櫨の会の17年間の歩みを知って頂くには何よりの内容になっています。DVD(2枚セット) 1,000円(送料込) 黄櫨50号記念号 1,000円(送料込) ご希望の方は事務局迄 ☎090-3079-5957(東)



矢部川流域を活動エリアとする八女・筑後・山門の3つの青年会議所が中心となり、行政や民間企業と連携して、南筑後を活性化させるという大きな志のもと、筑後船小屋の中之島公園の大楠林を巨大な生物に見立てた「矢部川くすべえ」という新キャラクターが生まれました。この度発行された絵本「矢部川くすべえ」(A4判32頁上製本1,700円+税)を3名の方へプレゼントします。住所・氏名を明記の上(株)東兄弟へハガキで応募ください。12月10日締め切り、応募多数の場合は抽選となります。絵本購入のお問い合わせは、

八女 JC 事務局 0943-24-4022
 筑後 JC 事務局 0942-52-6770
 山門 JC 事務局 0944-63-6669



クラッシー文芸
 ■八女陸句会
 暮れてなほ妻恋ふ声や法
 師光しばし授業の中断す
 稲月にしばし無心となり
 初紅葉葉にせむと拾ひけ
 り紅子の影も寄り添ふ良
 母と子の影も寄り添ふ良
 夜かな伊藤幸子
 稲雀過去の迫力いまいず
 こ穴見ミキエ
 金色の穂芒活けてありに
 けり牛島佐智子
 八朔の子供みこしの太鼓
 の音山口弘子
 意を決し石人までの露を
 踏み鳥無事なる旅と秋
 渡り鳥無事なる旅と秋
 ぬ皓と月蝕す松尾貞義
 持ち味の具材の美味しお
 でんかな城戸和子
 な空中を落葉しぐれか
 木犀の香に酔い穴見ミキエ
 散歩山口弘子

渡り鳥寄りつ離れつ点と
 ■立花町立花俳句会
 十七歳命懸けたる平和賞
 コスモスのかすか触れ居
 てうなづけり中村テルヨ
 木犀の散りしくあたり箒
 き目なし末継ミヨ子
 もてなしは仏と同じ柿グ
 ラタン西島志乃芙
 空澄みて槍鶏頭の真直に
 柿食へば幼き頃のかくれ
 んぼ原宣子
 釣竿に釣瓶落し蓑生ケ
 浦ダイヤモンド武田行夫
 稲刈かな朝日に光る
 ■八女紫苑句会
 電線に鈴なりの中サトリ
 秋の蚊の仇討のごと執拗
 外にも出よ皆既月伸赤
 し蕎麦の野川松延みさと
 溝蓄の流れかきく
 しけり牛島景子
 品書きは美しい手書き鶴子
 の宴堤多鶴子

現代の事の決め手の物差
 しは決断力と空気読むこ
 とと鶴 隆治郎
 乱舞せし大空恋うるかぜ
 口戦の休める翼に平和を
 願う井上 精
 秋風にコスモス揺れる散
 歩道ひさびさに見る空に
 残月松尾ミサキ
 大空に噴煙あがる御嶽山
 登山者の身の無事を祈り
 ぬ中島 睦美
 真つ青な空に噴き出す御
 嶽山登山者を襲う噴石の
 雨橋本 泰州
 紺碧の空に浮かんだ綿雲
 はふんわりゆつくり北方
 に去る中村サチ子
 紺碧の空に連なる立山の
 アルペンルートバスで
 降り行く田中たつじ
 暇と金あれば人生は楽し
 かるう妻はほーとため息
 をつく野中 裕政

■立花短歌会
 流れゆく雲を照らして冴
 えわたるこの名月はあと
 幾度見る野中 裕政
 水泳で昔遊びし天狗鼻護
 岸工事で跡形もなし
 カラコロと赤い鼻緒の下
 駄鳴らし浴衣の乙女ら八
 朔祭りへ田中たつじ
 矢部川と星野川との合流
 地水害の後いまだ残りぬ
 見舞うたび思いで語りて
 いし友も逝きて遺影にた
 だお念仏中村サチ子
 遠足の赤い鼻緒の藁草履
 は父の手づくり今も忘れ
 ず松尾ミサキ
 草津節にのつて手拍子
 「湯もみシヨウ」たぎる
 湯畑に湯の花香る橋本 泰州
 孫と鼻を突合せ指す将棋
 盤勝を譲るか負けたくも
 なし井上 精

家族サービス
 「家族サービス」という言
 葉をよく聞く。昔はいやな言
 葉だと思っていた。「サービ
 ス」という上から視線。「サー
 ビス」ではなく家族といた
 いという自然な気持ちで湧
 いてくるものじゃないか？
 そう思っていた。
 最近、少し思うことが変わ
 ってきた。時が経ち、家族
 という形が安定してくると、
 家族よりも優先したくなる
 ことがある。それは仕事
 だつたり、趣味だつたり。
 その時には「たまには家族
 といえないうな「サービ
 ス」になる。それでも、「サー
 ビス」になる。それは「思
 いやり」なのではないかと思
 う。一見、自分の意志では
 なく「してやっっている」と
 いう言葉かもしれないけれど、
 そこには少なからず相手のこ
 とを想う気持ちがある。家
 族が寂しいだろう、困るだ
 ろうという気持ち。家族の一
 員としてのプライド。気づい
 ていなくても、逆にならな
 いだけで逆にならないうな
 らない。
 もう一方では、「サービ
 ス」という言葉は利害関係
 がある時に使われる。利益
 を得る代わりに「サービ
 ス」がたとえそれであつても
 いのちを優先するようになった
 味を優先するようになった夫
 婦が、お互いの心の利益を
 得るために「たまには一緒
 に過ごそう、たまには話
 そう」と、お互いに「サー
 ビス」をする努力も必要で
 はないか。
 そんなささやかな思いや
 「サービス」さえもなくな
 った時、それは「サービ
 ス」を失くした時、それは、
 家族の愛を失くした時、そ
 れは、家族の愛を得る必要
 がなくなった時。いづれも、
 そんな家族関係は長くは続
 かないに違いない。
 仕事場の上司やお客を大事
 にするのは当たり前。けれど
 最も身近な応援者、理解者
 である家族にこそ思いやり
 や感謝の気持ちを向けるこ
 とができる人、そんな心の
 余裕を持つ人こそ仕事もう
 まくいき、趣味も充実し、
 いつまでも人生が輝くので
 はないだろうか。
 森 志穂



楽しい絵手紙
 八女市稲富 伊藤 清人

中央公民館翔年大学の『はつらつ絵手紙教室』で学んでいる。大坪次太先生の御指導で和氣藹々のうちに楽しい二時間が過ぎていく。身の回りのすべてのものが絵の材料となるが、主として季節の草花、果物、山野草などを描く。構図の取り方、絵の具の色使いに気を配りながら、画材を簡略化したり、或いは誇張したりして筆を運ぶ。口で言うように簡単に描けないが、先生に手を加えて頂くと、我が絵ながら見違えたものになり、先生の蒞畜の深さが窺える。

これから健康に留意して、絵手紙教室に通いたい。皆さんにお世話になりながら益々の交流を深めたい。このごろ物忘れがひどくなつた。認知症予防を兼ねて、健康寿命を追い求めて行きたいと思う。欲張りかな。

園児との芋掘り交流会 10月31日

本校生活科学科2年生は福島保育園児を招待し、サツマイモ掘りを通して交流を行いました。最初に、「紙芝居」でサツマイモの植え付けから収穫までのお話をし、農業体験の楽しさを知ってもらいました。芋掘りでは生徒と園児が一緒になり、大きな芋を手にして、歓声と笑顔で交流を終えることができました。生徒は園児とのコミュニケーションの取り方や幼児への愛情を育むことの大切さを学びました。また、収穫の喜びや食べ物大切さを学び、自然とふれあう農業のすばらしさや農業への関心を高めることができました。

(生徒の感想紹介)
 私が担当した園児はとても緊張して最初には話があまり続きませんでした。イモがみえるまでとても時間がかかりましたが、園児達とイモを掘っていくと、最後はたくさんとれました。紙芝居や芋掘りを通して、たくさん笑顔が見れて、楽しい一日でした。

筑後市立羽犬塚中出身 岡崎 さち
 園児達は紙芝居をしっかりと聞いてくれてうれしかったです。芋掘りの時は、緊張して泣いてしまった子もいて、楽しく話しかける事が出来なかったけど、一緒に掘っていくうちに、仲良くできて嬉しかったです。掘った芋をおいしく食べていただけたら嬉しいです。

八女市立黒木中学校出身 田形 朱加
 園児たちは一生懸命芋を掘ってくれました。小さなスコップで大きな芋を探して掘る姿や自分の掘った芋を袋いっぱいに入れて歩く姿がかわいかったです。私の将来の目標は保育士なので、今日の実習で更に保育士という職業に触れることが出来て参考になりました。

広川町立広川中学校出身 野田 美里
(八女農みらい館 12月販売日程)
 2日(火)、5日(金)、9日(火)、12日(金)、16日(火)、19日(金)、26日(金) 毎週火曜日と金曜日の2回定期的に販売しており、販売時間は、10時30分～15時30分です。多くの皆様のお越しを心からお待ちしています。



園児達は紙芝居をしっかりと聞いてくれてうれしかったです。芋掘りの時は、緊張して泣いてしまった子もいて、楽しく話しかける事が出来なかったけど、一緒に掘っていくうちに、仲良くできて嬉しかったです。掘った芋をおいしく食べていただけたら嬉しいです。